

AVANT

AVANT Group 中期経営計画 ～BE GLOBAL 2023～

株式会社アバント
(証券コード3836 東証1部)

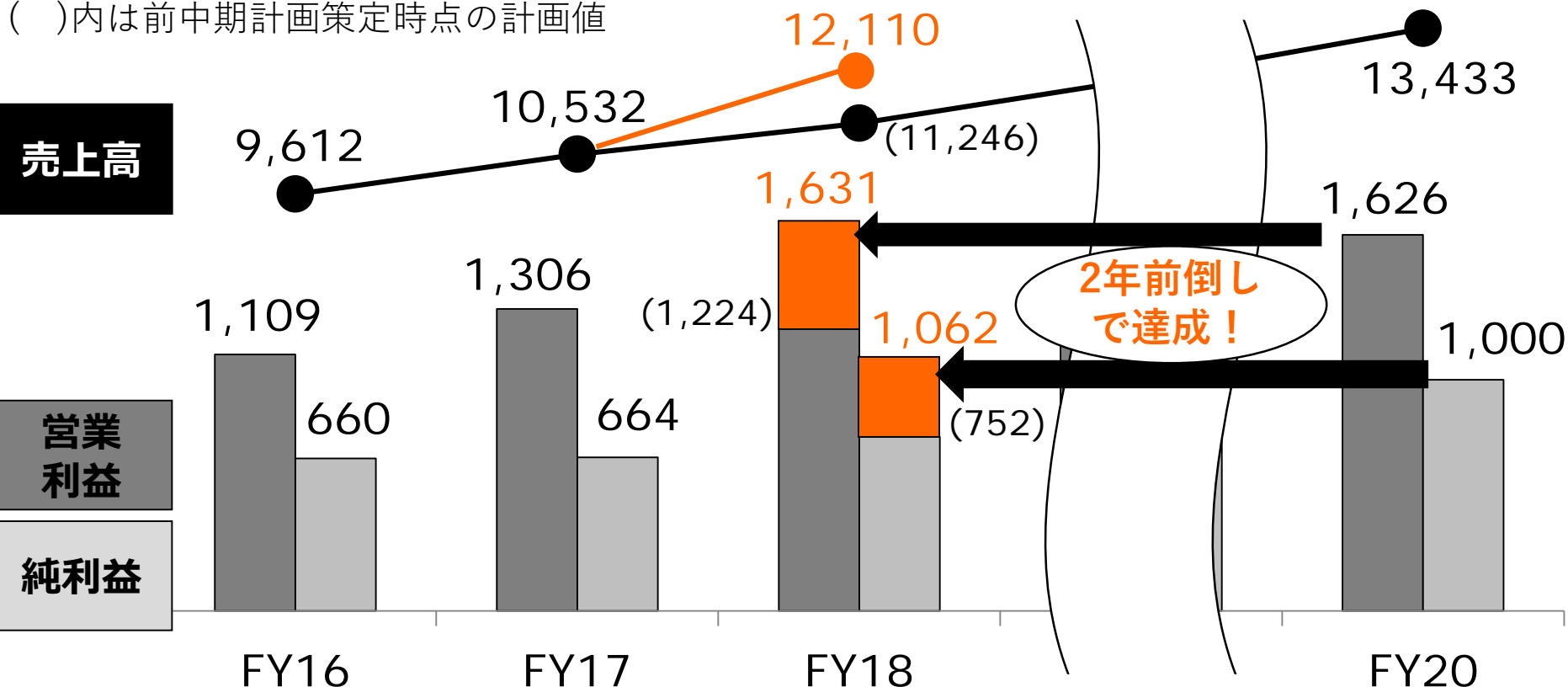
2018年(平成30年)9月5日

前中期経営計画について

前中期経営計画（FY18~FY20）で目標とした「純利益：10億円」についてはFY18に2年前倒しで達成することができました。このため、新たにFY19~FY23の5年間について中期経営計画を策定いたしました。

()内は前中期計画策定時点の計画値

売上高



AVANT Groupは次の10年へ

株式会社ディーバとして設立

ヘラクレス(現JASDAQ)へ上場

東証1部へ指定変更

1997

2007

2018

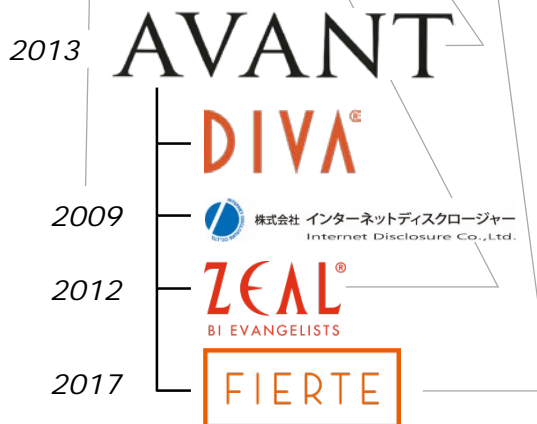
連結決算義務化、J-SOX

グループ経営の拡大

CFOの役割の進化・変革

DIVA

連結決算ソフトウェア
メーカーとして成長。
国内シェアNo.1を獲得



持株会社制へシフトし、
自らもグループ経営を
実践しながら成長

AVANT Group
お客様のCIFO組織の
改革・課題解決を支援する
CIFO ACCELERATOR

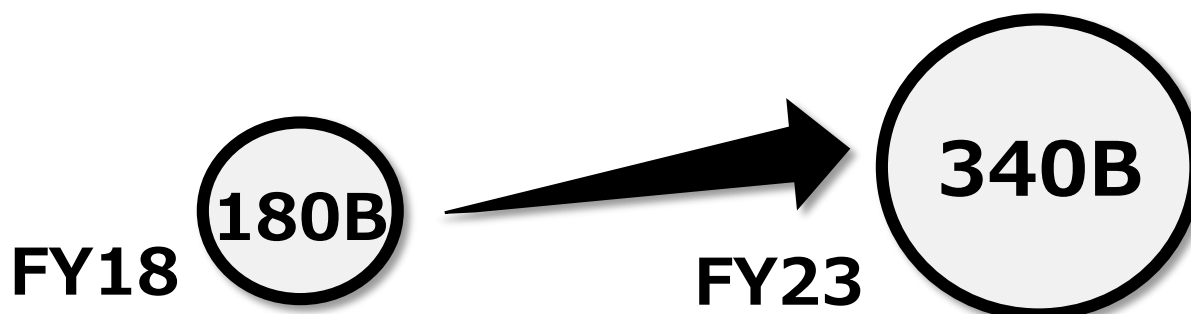
グループ一丸となり、
新たなる価値創造を
実現するフェーズへ

CFO組織のデジタル化

当社グループでは、現在のCFO組織のデジタル・トランスフォーメーション関連マーケットは1,800億円程度のサイズと考えています。

一方でCFO組織を含む日本のホワイトカラーの生産性改善はGlobal水準に比べて大きく出遅れており、大きな改善の余地がある、つまりは市場の伸びが予想できる状況です。

当社グループでは、2023年までに、当該市場は年平均13%前後の成長で3,400億円程度の規模に拡大すると予想しています。

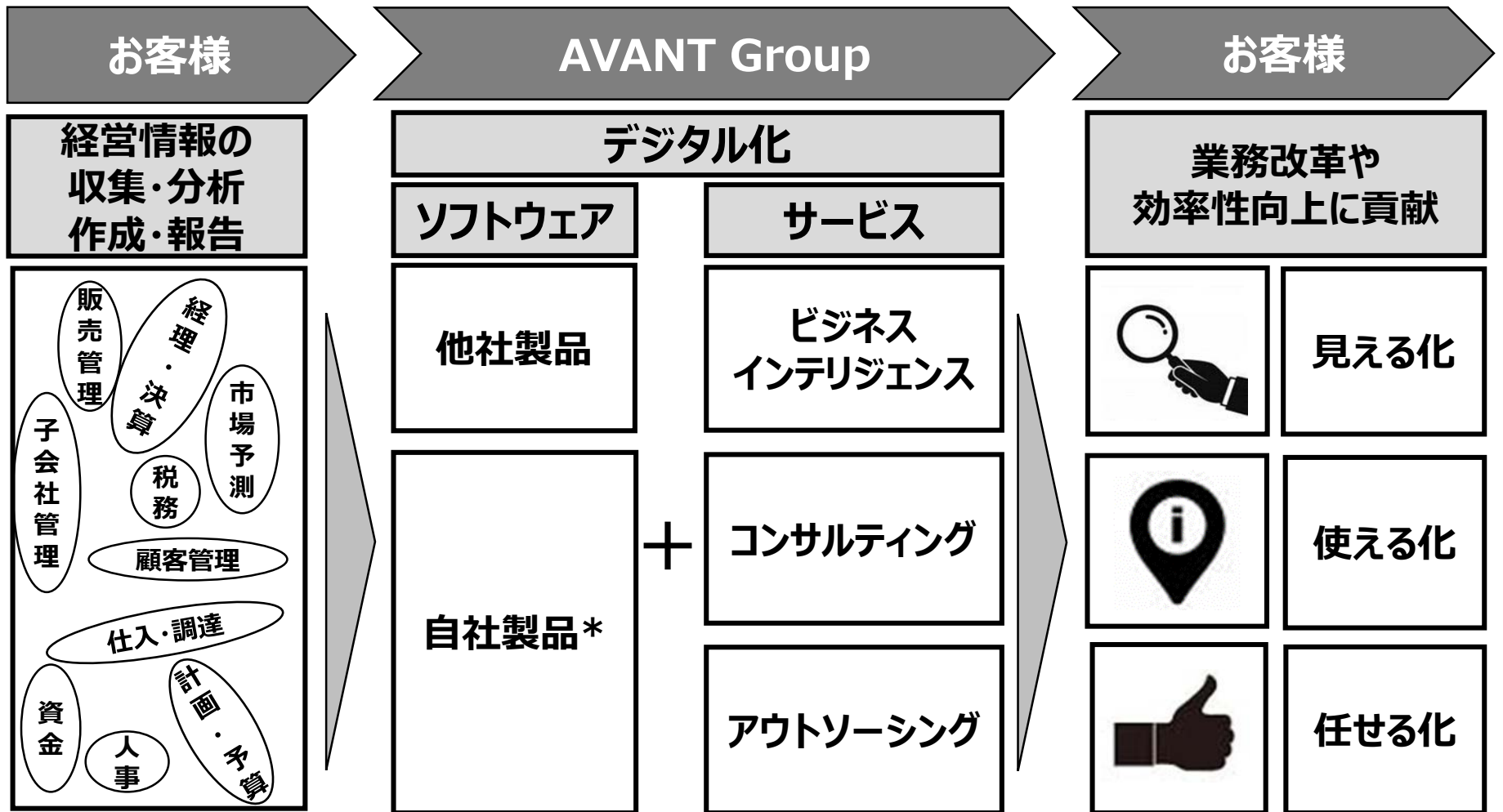


CIFO ACCELERATOR

当社グループは、私たちのミッションである「経営情報の大衆化（経営情報を未来の地図に変えていく）」を実現すべく、ソフトウェアを用いて企業のCFO（最高財務責任者）組織のデジタル・トランスフォーメーションを推進しています。

当社グループは、デジタル化された情報を操り、企業の意志決定を支える現代のCFOを「CIFO」と呼称し、“見える化”・“使える化”・“任せる化”という多様な手段で、このCIFO組織の行う革新の推進役を担う「CIFO ACCELERATOR」となることを志向して事業活動を行っております。

サービス提供を通じて知的財産と信用を蓄積



*一部他社製品も含む

AVANT Groupの目指す姿

< BE GLOBAL >

世界に通用するソフトウェア企業となる

当社グループは

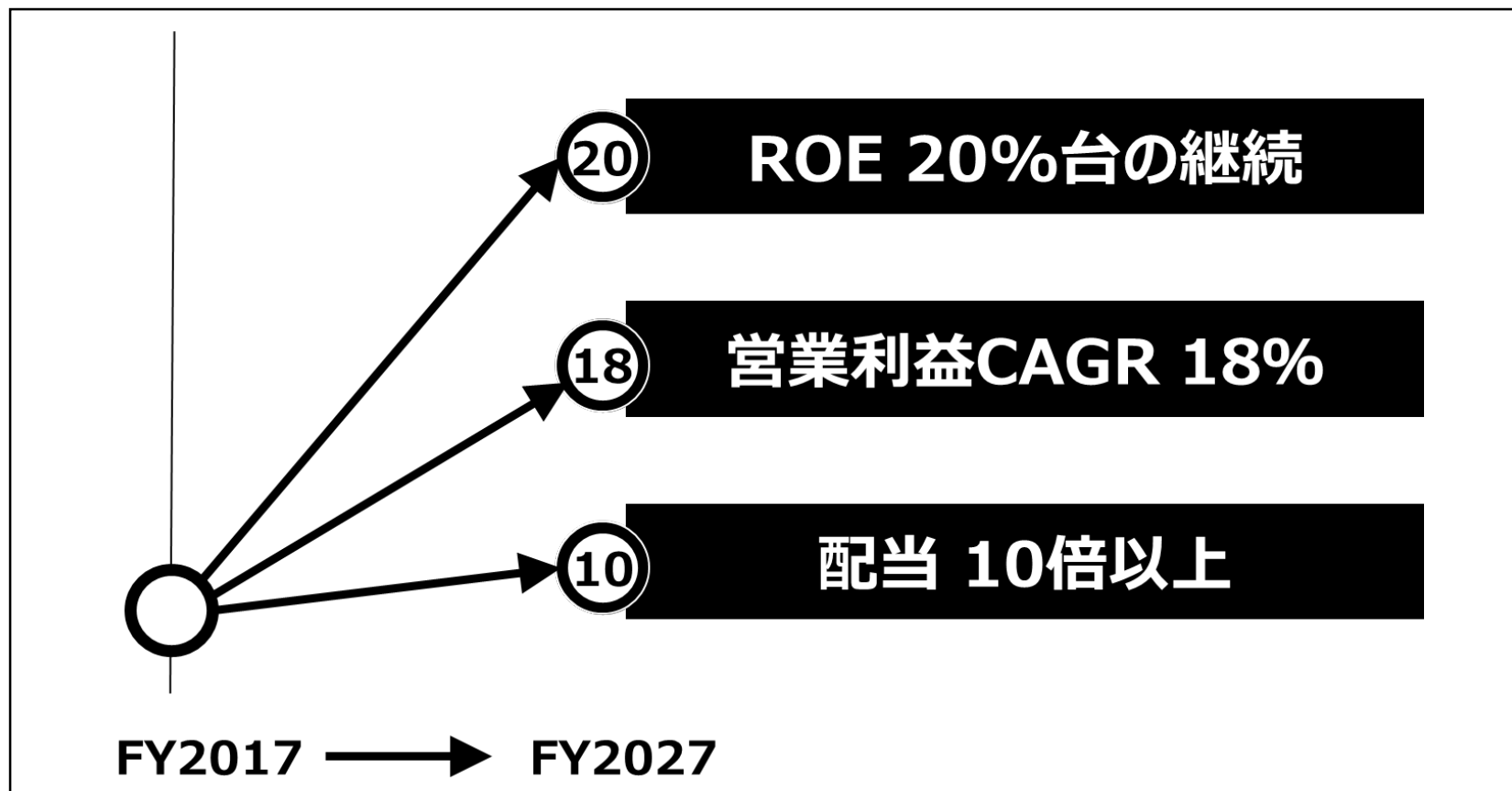
- ✓ CIFO ACCELERATORとして
- ✓ 世界に通用する知的財産（ソフトウェア）を持つ
- ✓ 高付加価値企業となる

ことを志向して事業活動に取り組んで参ります。

なお、「世界に通用する」ことを目指すものの、当中期計画期間は**国内市場を優先**して活動いたします

AVANT Groupの長期経営目標

前期に策定した長期(10年間)のパフォーマンス目標は堅持



AVANT Groupの中期目標

	FY18		FY23
売上高	120億円	➔	180~220億円
ストック売上比率	33%	➔	70%
営業利益	16億円	➔	31~38億円
売上成長率 + 営業利益率	28.5pt	➔	40pt以上
ROE	24.5%	➔	20%以上
配当	12円	➔	30円以上

企業価値の
最大化

=

事業成果

売上成長 + 高収益性

営業利益31~38億円

×

市場評価

ビジネスモデルの転換

ストック売上比率 70%

||

AVANT Groupの中期行動計画

既存事業の
価値最大化

+

M&A
資本業務提携

- 顧客数の拡大や商材の拡大による事業の成長
- 自動化推進や品質向上による収益性向上
- 派生新事業の創出

- アウトソーシング事業の展開加速
- 連結会計事業のクラウド化の推進
- BI事業のビジネスモデルの転換

- 利益向上に資する企業の買収や資本業務提携

- ストック売上比率の向上に資する企業の買収や資本業務提携

AVANT

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。